

小山小は日本一

校長 土田 昇

小学校の一大行事「運動会」が終わりました。運動会当日は、子供たち一人一人の速く・強く・かっこよく…といった前向きな願いを中核に、保護者・地域のみなさんの声援が包み込む中で校庭全体から熱気のようなものが湧きおこってきているように感じ、しみじみと感動したのは私だけではないでしょう。前号のこの紙面では、今回の運動会の実施について『一難（新型コロナ）去って、また一難（熱中症）』と書くくらい心配しておりました。一つ目の感染症については近隣地区で学級閉鎖のうわさも聞かれていましたが、本校では数日前からインフルエンザやコロナウイルスによる欠席児童数は0名でしたし、二つ目の熱中症についても、当日は曇天で午前中は霧雨のような少雨が降ったことで、体温の低下を心配するほどでした。当日だけでなく練習中においても、熱中症による搬送やけがなどに子供たちを巻き込むことなく、無事に終わられたことに安堵しております。これもひとえに、保護者のみなさまのお子様に対する愛情、小山地域のみなさまの子供たちに対する支援などがあっての結果であると感じます。

今年、本校は開校150周年を迎えます。歴史と伝統に支えられた…と一言で言うことが多いのですが、それは“小山にくらす人々のおやまっ子にかける愛情”が連綿と紡ぎ継がれ蓄積してきたものであるように思います。今年はその想いを今後、さらに10年、20年、そしてさらに先の時代にまで紡ぎ継いでいく大きな節目の年といえます。

前月号の紙面で、2学期の始業式に50年前（100周年記念）の小山小学校の子供の作文を紹介しましたと書きましたが、諸事情でその作文は本日の全校朝会で子供たちに紹介しました。申し訳ありません。急遽、始業式の日には、今回の表題に書きました「小山小は日本一」という、本校の第二校歌として親しまれていた歌を子供たちに聞かせました。今回はその歌について紹介したいと思います。

「小山小は日本一」という曲は、130周年記念式典の頃に作られました。当時は、第36代の折田校長先生の時代で、小山小の2回目の児童数急増期にあり、東京都最大のマンモス校でした。中庭にあった池や花壇もプレハブ教室2棟を建てる関係で取り壊されるほどでした。そこで、小山小の学区の西に新設校の小山ヶ丘小学校が建てられ、多摩境駅周辺と京王相模原線高架以西の地区に住む子供たちは、小山小からお別れすることになったのです。小山の子供たちが分かれてしまうことを悲しく思った折田校長先生をはじめとする当時の先生方や児童会の子供たちを中心に作られたのが「小山小は日本一」の曲なのです。小山ヶ丘小学校が開校して校歌ができるまで、また小山中央小学校が続いて開校したときも校歌ができるまで、この「小山小は日本一」の歌は、校歌の代わりとして歌われたと聞いています。つまり、この歌は小山地区三校の絆を物語る素敵な曲なのです。

今年度11月2日の記念式典当日や、保護者参観日などを通して、子供たちの声で、この歌をお聞かせできるよう計画してまいります。

小山小は日本一

作詞 平成十五年児童会役員

（一）

小山の子

友だちたくさん嬉しいな

しだれ桜も友だちだ

いつでもみんな仲よしで

勉強遊びもワクワクだ

元気いっぱいあふれてる

とっても大好き小山小

（二）

ついにきた

全校行事の運動会

笑顔の花がさいている

楽しいたてわり小山祭

みんなで作って遊ぼうよ

夢と希望にあふれてる

小山小は日本一



10月の行事予定

日	曜	
1	日	都民の日
2	月	振替休業日
3	火	朝会 心のアンケート
4	水	【特時】 午前授業
5	木	
6	金	教育実習終 放課後英語教室
7	土	
8	日	
9	月	スポーツの日
10	火	集会 スポーツデー
11	水	安全指導
12	木	小学校連合体育大会(6) 宿泊事前検診(さ) サポートルーム個人面談始
13	金	放課後英語教室
14	土	土曜授業日 1～4年 3時間授業 5・6年 4時間目委員会
15	日	
16	月	振替休業日
17	火	児童集会
18	水	
19	木	宿泊学習(さくら) 安全点検
20	金	宿泊学習(さくら)
21	土	
22	日	
23	月	避難訓練(風水害想定)
24	火	書き取り朝会
25	水	たてわり班活動
26	木	サポートルーム指導お休み いじめ対応チーム
27	金	校外学習(1・2) サポートルーム個人面談終
28	土	
29	日	
30	月	クラブ
31	火	朝会



11月の行事予定

1	水	150周年記念式典前日準備(5・6)
2	木	【特時】午前授業(1～5) 150周年記念式典
3	金	文化の日 小山フェスタ
4	土	
5	日	